

第26回 全国水産・海洋高等学校カッターレース大会を終えて

7月18日(木)福岡空港を発ち、青森県八戸市へ向かいました。19日(金)、大会会場である八戸港へ向かい、1時間の試走を行いました。試走ではスタート練習、回頭練習を中心に行い、次の日の予選レースに備えました。20日(土)、予選第4レース12時からのスタートで相手は九州大会で敗れた宮崎県立宮崎海洋高等学校、新潟県立新潟海洋高等学校でした。事前に予選レースの対戦相手は決まっており、九州大会のリベンジを晴らすべく生徒たちは燃えていましたが結果は1着、宮崎県立宮崎海洋高等学校、タイム5分51秒50、2着、福岡県立水産高等学校、タイム5分52秒89、3着、新潟県立新潟海洋高等学校5分58秒17となり、九州大会決勝と同じく宮崎県立宮崎海洋高等学校に1秒差で負けました。予選2位上がりで準々決勝に進み、対戦相手は前年度優勝校、愛知県立三谷水産高等学校、前年度3位の京都府立京都海洋高等学校に決まりました。結果は1着、愛知県立三谷水産高等学校、タイム5分48秒84、2着、京都府立京都海洋高等学校、タイム6分00秒44、3着、福岡県立水産高等学校、タイム6分08秒44となりました。予選タイムより16秒もタイムが落ち、生徒たちも落胆していましたが、明日の準決勝には出場できるので切り替えて明日のレースに臨むように話をしました。

21日(日)準決勝3レース目に入り、相手は宮崎県立宮崎海洋高等学校、島根県立隠岐水産高等学校に決まりました。結果は1着、島根県立隠岐水産高等学校、タイム5分57秒02、2着、宮崎県立宮崎海洋高等学校、タイム5分59秒54、3着、福岡県立水産高等学校、タイム6分05秒19となり、決勝へは1位しか進めないため、ここで敗退が決まりました。

予選で5分代のタイムを出していただけに準々決勝、準決勝と不甲斐無い結果となり、何が原因であったか色々と考えました。昨年までは体力面に課題があったため、練習では体力の強化を図り、レースにおいても九州大会ではタイムが落ちることが無かったため、なぜこんなにタイムが落ちたのか未だに理解に苦しみます。しかしながら、タイムが安定した強豪チームを見て、まだまだ体力面に課題があったのだと思います。九州大会後は、九州北部は荒天が多く、思うように練習ができずにいました。だからこそ、疲れていても練習できるときに徹底的にカッターを漕ぐということが必要だったのかもしれませんが。また、カッターを漕ぐにあたっての基礎体力の強化も図ることで漕ぎの体力に繋がるので、冬場の基礎体力の強化も図っていきます。

大会結果一覧

7月20日(土)

予選

時刻	レース名	コース	学校名	着順	タイム
10:30	Aレース	1	青森県立八戸水産高等学校	3	6分 11秒 29
		2	静岡県立焼津水産高等学校	2	5分 54秒 67
		3	愛知県立三谷水産高等学校	1	5分 48秒 96
11:00	Bレース	1	鹿児島県立鹿児島水産高等学校	3	6分 06秒 50
		2	鳥根県立隠岐水産高等学校	1	5分 57秒 04
		3	山口県立大津緑洋高等学校	2	6分 02秒 99
11:30	Cレース	1	京都府立海洋高等学校	2	5分 50秒 46
		2	北海道小樽水産高等学校	3	6分 20秒 07
		3	東京都立大島海洋国際高等学校	1	5分 40秒 47
12:00	Dレース	1	福岡県立水産高等学校	2	5分 52秒 89
		2	新潟県立海洋高等学校	3	5分 58秒 17
		3	宮崎県立宮崎海洋高等学校	1	5分 51秒 50

7月20日(土)

準決勝

時刻	レース名	コース	学校名	着順	タイム
14:30	Gレース	1	福岡県立水産高等学校	3	6分 08秒 44
		2	愛知県立三谷水産高等学校	1	5分 48秒 84
		3	京都府立海洋高等学校	2	6分 00秒 44
15:00	Hレース	1	鳥根県立隠岐水産高等学校	2	5分 55秒 60
		2	東京都立大島海洋国際高等学校	1	5分 47秒 71
		3	新潟県立海洋高等学校	3	6分 11秒 72
15:30	Iレース	1	山口県立大津緑洋高等学校	3	5分 56秒 99
		2	宮崎県立宮崎海洋高等学校	1	5分 54秒 96
		3	静岡県立焼津水産高等学校	2	5分 56秒 44

準決勝Lレース 10:30

コース	学校名	着順	タイム	備考
1	福岡県立水産高等学校	3	6分 05秒 19	Gレース3位
2	鳥根県立隠岐水産高等学校	1	5分 57秒 02	Hレース2位
3	宮崎県立宮崎海洋高等学校	2	5分 59秒 54	Iレース1位

決勝Mレース 11:30

コース	学校名	着順	タイム
1	東京都立大島海洋国際高等学校	1	5分45秒26
2	愛知県立三谷水産高等学校	2	5分45秒84
3	島根県立隠岐水産高等学校	3	6分02秒57

優勝 東京都立大島海洋国際高等学校

準優勝 愛知県立三谷水産高等学校

第3位 島根県立隠岐水産高等学校

敢闘賞 宮城県立宮崎海洋高等学校

予選レースは2位通過、準々決勝は3位通過となり、準々決勝にて宮城県立宮崎海洋高等学校、島根県立隠岐水産高等学校に敗れる形で敗退となりました。準決勝のタイムでは敢闘賞の宮城県立宮崎海洋高等学校に次ぐ5位です。優勝した東京都立大島海洋国際高等学校と準優勝の愛知県立三谷水産高等学校のタイムが群を抜いていました。この2校の強さを目指して新チームの練習に取り組んでいきたいと思えます。

最後に今大会に参加するにあたり、たくさんの寄付を賜り、生徒はこの上無い条件で大会期間中を過ごすことができました。本当にありがとうございました。しかしながら結果が伴わず非常に申し訳ない気持ちでいっぱいです。この大会後、1、2年生の新チームが始動しました。今大会に参加した1、2年生はこの経験を糧に再び全国大会優勝を目指していきますので引き続き応援いただけると幸いです。



閉会式後の集合写真